

赤く紅葉した風景



ビクトリアの滝



NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ニュース第19号 (H25.11.15)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 11月も中旬となりました。宮崎も朝夕は涼しいというより寒く感じるようになってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

2011年10月に始めた山元先生のモバイルクリニック（法人化したのは2012年7月ですが）、診察した患者さんのノート（カルテ）が2200冊以上になっているそうです。中には何回も診察に来られ、ぼろぼろになったノートもあるとのこと、感慨深いですね。

さて今回は、ザンビアで10月に3回実施したセンシタイゼーション（啓発広報活動）特集号です。

現地活動報告（センシタイゼーション(啓発広報活動)報告）

みなさまお元気ですか。日本はだいぶ寒くなってきていることと思います。かぜなどひかれませんように、どうぞお気をつけ下さい。

ザンビアは、3-4回激しい雨が降りましたが、まだ続くことはなく、道路は乾燥しています。昼間は結構暑くなるのですが、朝方は冷えて目が覚めます。

不在の間も、巡回診療は11回実施され、レポート書きをどうしようかと悩んでいました。知り合いのザンビア人の看護学生に、患者台帳に診察した患者の番号、年齢、性別、診断名、マラリア検査の結果、投与された薬剤を記入するアルバイトをお願いしました。記入のための指針も作成し、説明もして依頼したのですが、間違いがあまりに多く、特にマラリア検査陰性の記録がほとんどありませんでした。そのため、先週末から2200冊以上の患者ノート全てに目を通して、診察した患者の記録をひとつひとつ訂正しました。それが今日やっと終わり、これを元にレポートを書きます。たいへんな作業でしたが、2011年10月からの患者ノートで、砂ぼこりにまみれて、ぼろぼろになったノートもありました。ぼろぼろのノートは何度も受診している印です。本当に2年間がんばってきたのだなと胸がいっぱいになりました。

10月17日ルアノ、29日ムワンタヤ、31日カナカントパでセンシタイゼーションを実施しました。昨年11

月の報告書でお話ししましたように、センシタイゼーションというのは、地区の人々を集めて、ドラマグループ（7～8人ぐらい）を雇って、ドラマや歌、踊りなどでマラリア、結核などの疾病の症状、その予防や治療などについて人々にわかりやすく説明するものです。新聞、テレビ、ラジオなど情報伝達の手段がなく、歌や踊りが大好きな人々にとってはとても有効な情報伝達の手段と考えられています。

ルアノやムワンタヤでは、人々は小川から汲んできた水をそのまま飲料や水浴に使っています。安全できれいな水を使うことの重要性と、いまだに蚊帳を使用せずマラリアにり患する子どもたちが数多くみられることから、マラリア予防のためにネットが必要なことを住民に伝えるために、センシタイゼーションを実施しました。

今回雇用したドラマグループは、以前お願いしたグループと同じですが、踊り・ドラマ共に格段に上達していました。ルアノでは200人近く、ムワンタヤ、カナカントパではそれぞれ150人近くの人が集まり、歌や踊り、ドラマに歓声をあげました。それぞれの地区ではヘッドマンと呼ばれる長老も参加して、あいさつしていただきました。

ドラマグループがマラリアは怖い病気だと歌いながら入場し、太鼓をたたきながら、ダンスが始まります。何人かの住民が飛び入りで参加し、場が盛り上がっていきます。その後で、マラリアのドラマが始まります。今回はマラリアネットを使わずに、妊娠中の奥さんがマラリアになったという設定で、最後にコミュニティヘルスワーカーが彼らの家を訪問し、マラリアは夜ネットの下で寝れば予防できることなどを説明します。ドラマが終わると、ヘルスセンタースタッフが、その内容をまとめ、再度ネットが必要なことや迅速な治療の必要性を人々に伝えます。

その後は、安全な水についての話です。娘がひどい下痢をして、祈祷師（traditional healer）の所に連れていき、おまじないをしてもらい、多額のお金を要求されます。この祈祷師は、ぼさぼさの髪のカツラをかぶり、顔には奇妙なペインティングをしているのですが、以前と違う人が演じていて、恐ろしいというよりも、コミカルで、みんなで大笑いしました。2人のコミュニティヘルスワーカーがやってきて、ORS（oral rehydration salts）を作って脱水を予防すること、水にはクロリンを入れて安全な水にすれば下痢が予防できることなどを説明します。

ドラマが終わると、ヘルスセンタースタッフが、再度そ



ドラマグループ



集まった人々



長老達（ヘッドマン）



マラリアネットの説明



下痢になった娘

の内容をまとめて終了です。

歌、踊り、ドラマの時はみんなとても興味深く見ていますが、ヘルスセンタースタッフの話になると、ざわざわしてまじめに聞いていない人も多くなります。近くのコミュニティスクールの子供たちもたくさん参加してくれたので、子供たちを通して家族に情報が伝わればよいと考えました。

カナカントパでは、最後に長老が、マラリアネットで魚とりや虫とりをしている者をみつけたら、厳しく罰すると念を押して下さり、ありがたかったです。

その後、ルサカでは60,000クワチャ（約1150円）するネットを5000クワチャ（95円）で販売しました。国立マラリアセンターから寄贈していただいた300個のネットはカナカントパで全て無くなりましたので、再度300ネットいただけるようお願いしています。また、クロリン300本の寄贈をSociety for Family Healthという団体をお願いしています。

このセンシタイゼーションがどれだけの効果があるのかはわかりませんが、いろいろな機会を通して、正しい情報を人々に伝えることが重要だと考えています。



昼ご飯の準備風景



マラリアネット買いました

会費納入等について

25年事業年度も12月までで終了となります。すでに多くの方に賛助会費等納入していただいておりますが、まだ未納の方もおられますので、賛助会費（一口5000円、一口以上）の送金をどうぞよろしくお願い致します。

★ゆうちょ銀行からの振替 口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 ゆうちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

*注：店名ですが、漢数字でした。「いちななきゅう」です。

なお連絡先は法人代表 info@ormz.or.jp 又は日高 (hidaka1956@gmail.com) までよろしくお願い致します。また納入頂いた際には多少後日になりますが、ご本人にメールでその旨お知らせさせて頂いております。納入されたのに連絡の無い際にはお手数ですがご連絡ください。

以上

今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。